

編集発行:とよま農場 〒080-2106 北海道帯広市美栄町西6線128 携帯 090-1648-2100

未来に向かって新たなる選択 ～今、私たちにできることを～

東日本大震災で、被災された方々に心よりお見舞申し上げますと共に一日も早い復興をお祈りいたします
3月11日 14時46分 東日本を襲った大震災時、私は4男晶浩の卒業式に合わせてかねてからの願いだっただ山形・福島・宮城での“再会と学びの旅”に胸躍らせ、高速道路(道東道)を次男の待つ追分に向かって走行していました。そしてその惨状を知ったのは、追分のテレビ画面に映し出された信じがたい現実でした・・・尊い生命が、またそれまで積み上げてきたものが、一瞬にして失われた自然災害。誰を攻めることもできず、ただただ受け入れがたい現実と向き合うしかできません。そして、憤りを覚えるのが、原子力発電所による放射能漏れ。福島及びその周辺のみならず、Made in Japanの風評被害も含めれば、その被害は余りにも甚大です。現代社会における豊かさをもたらした人災を思う時、東電や政府を非難するばかりでなく、今一度私たちの暮らしの在り様を見直し『もっともっと』から『適量』の暮らしを実践していきたいものです。これまでの結果としての今をしっかりと見つめつつ、未来の原因としての今を選択し生きたいと思えます。地球は私達人間のものだけではありません。立ち止まって、学び、考え、新たなる歩みを始めましょう。海に囲まれた恵み豊かな国日本に生きるものとして。 外山聖子

家族のよこがみ

聖子 52歳

卒業式の前日に行われた“さよなら音楽会”で、学園生全員で歌われた一曲の歌詞。♪広島のある国でなければならぬことは♪唯一の被爆国である日本が、平和的利用として原発を選択した過ちにこの事態になって初めて知る愚かさを覚えます。

隆祥 25歳

今年から地域と共同で行っている小麦のコンバインオペレーターとして収穫期は24時間勤務、12時間休憩。合間に圃場管理という激務が待っています(汗。約10日ですがどうなることやら…)

剛士 23歳 札幌市 (札幌東急イン 調理師)

いよいよ昨秋購入したバイクデビュー。行動範囲をグ〜んと広げて、食べ歩きつつ舌と腕を磨きます。

佳裕 21歳 岩手県 (岩手大学応用生物科学課程 4年)

大学も残すところあと一年。先の大震災では、水槽の水が溢れ出し避難所生活も・・・遅ればせながら就活も開始です。

晶浩 19歳

山形県にある基督教独立学園高等学校を卒業し、秋田にて自動車運転免許を取得。現在は小国フォルケ・ホイスコーレに加わり、宮城県石巻市にて復興支援のお手伝いをしています。

徳男 81歳、京子 75歳

☆味噌・豆腐作り講習会を行いました。 2月12・13日

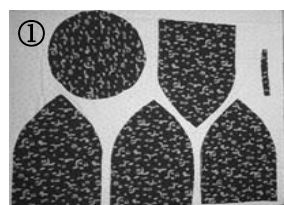
2日間に渡り31名の方々が受講され、今年も手作り味噌を仕込みました。



鍋帽子でエコクッキング～

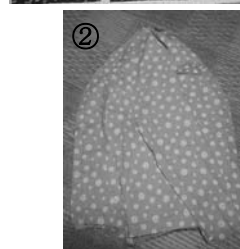
光熱費の節約(CO2の削減)に余熱を活かした保温調理はいかがですか?

コトコトと煮る豆類や煮物・茶碗蒸しまで様々なお料理にとっても重宝しています。



①表地・裏地・毛布やセーターなどを裁断します。

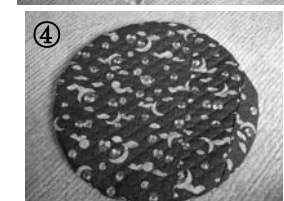
(各110cm×80cm)



②中表にして表地及び裏地を縫います。裏地に毛布を縫い合わせます。



③表地に②を合わせて裾をまつり、出来上がりです。



④鍋の下に敷く座布団も同様に作ります。



詳しくお知りになりたい方は、『なべ帽子希望』で、お知らせ下さい。型紙や作り方、お料理のレシピをお送りいたします。

EVENTS

「はちミーツ」開催のご案内



満開に咲き誇る今年の菜種畑

我が家で5年前より栽培し、1番搾りの油“油になったね〜!”や“はちみつになったね〜!”として、ご利用いただいております菜種。この菜種を活かしたイベント「はちミーツ」を企画しました。

満開に咲き誇る菜の花の観賞に加え、蜂箱を観察しながら、十勝養蜂園(上士幌町)の斉藤さんをお迎えし、蜜蜂や養蜂の世界についてお話をお伺いします。加えて、実際に蜂蜜を絞っていただく実演もさせていただきます。

また、我が家の畑を一周しながら各種作物について学ぶ「畑散策ツアー」と盛りだくさんの内容です。

開催は、6月18日(土) 10:30~15:00 (詳細につきましては、ブログをご覧ください)

*菜種の開花期間中(5月下旬~6月中旬)は、やぐら&遊歩道を設置して、来場された方々がお気軽にお楽しみいただけるよう工夫を凝らし、皆様のお越しをお待ちしています。

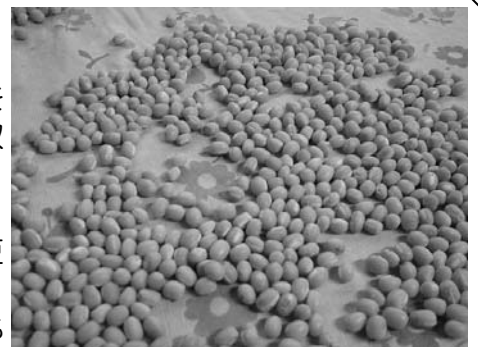
今年は“白小豆”が仲間入り。 NEW!

上川郡美瑛町の外山農園から譲っていただいた希少な白小豆の種を昨年1年かけて種子用に増やしてきました。そしていよいよ今年の収穫から、白小豆の販売が可能になります。

一般的に白餡といえば、手亡(菜豆)を加工したものを言います。京都の老舗和菓子店など、こだわりのある一部のお店ではこの白小豆の白餡を使っています。

白い作物は一般的には有色の作物よりも遺伝的に弱く、小豆よりも栽培が難しいのです。白小豆自体あまり一般に出回る機会も少ないのですが、手亡の餡子とは違うなめらかで品のある餡が出来ます。

この機会に是非、ご家族、知人・友人への贈りもの等にご用命下さい。



リアルウェア製作中〜。

「楽しく働く人の服は、結果的にカッコいい」をテーマに、十勝を発信しようと集まった有志によって昨年11月から十勝オリジナルの仕事着作りに取り組んでいます。

地元商店街のアパレル社長、農家、広告代理店、デザイナーなど異業種が集まってプロジェクトを進めています。このプロジェクトに隆祥が事務局として参加、作業着に関するアンケートやブログの管理などを行っています。地元商工業者の方々の共同作業は、普段とは違った経験になっています。

今後の可能性としては、物産展へ出展する際に十勝をPRするユニフォーム、農系高校・大学のオフィシャル作業着、ファームステイのお土産としての活用などを検討しています。

詳しくはインターネットで「十勝リアルウェアプロジェクト」を検索してみてください。



家族で見よう! 食べ物・原発等に関する映画のご紹介

- ☆いのちの食べかた 2005年 ドイツ
 - ☆ありあまるごちそう 2005年 オーストリア
 - ☆アースリングス 2006年 アメリカ
 - ☆未来の食卓 2008年 フランス
 - ☆フードインク 2008年 アメリカ
 - ☆キングコーン 2009年 アメリカ
 - ☆祝の島(ほうりのしま) 2010年
 - ☆ミツバチの羽音と地球の回転 2011年上映中
- 〜レンタルビデオなどで、是非ご覧下さい〜



編集後記

最近インターネットを介して友人・知人と交流するソーシャルメディアが、便利な携帯端末の普及に伴って流行ってきています。数年前までは情報弱者だった田舎での生活も、都会生活となんら変わりないものになりました。

そういったメディアを使って、隣町の先輩農家の方々と繋がっていくことで「大豆の種まきなう。」や「日高に沈む夕日が綺麗」←「いいね!」といった感じで、農作業の合間に情報交換をしています。農作業は黙々と行っているイメージがあるかと思いますが、便利な道具を手に入れた現代農業者は日曜大工からパソコンまで、なんでもこなす「百姓」なのです。多くの事を吸収して、より良い作物を作るぞー。

たかよし